

きょうされん秋田支部ニュース

2026年2月号

【秋田県へ要望書提出】

令和8年2月3日（火）秋田県へ「職員不足」を解決するための「国への意見書提出」を求める要望書を提出してきました。

この日は、秋田県健康福祉部部長、秋田県健康福祉部次長、秋田県健康福祉部障害福祉課課長、秋田県健康福祉部障害福祉課地域生活支援チームリーダー立会いの下、はじめに澤田相談役より「福祉現場の現状と現制度に対する問題点」について説明をしました。続けて伊藤より「秋田県内の職員不足と事業の継承が難しい現状について」説明しています。それを受けて秋田県からは「秋田県だけではなく地方と呼ばれるところは慢性的な働き手不足である」ことの説明があり、内容を確認し意見書提出については検討していきたいと回答をいただきました。



どこも少子化のため人材が不足していますが、情報共有をし、お互いの知恵をだしながらこの課題に向かっていくことを確認し要望書を提出しております。



お忙しい中、ご丁寧に対応していただき心から感謝申し上げます。